

平成28年度 関西広域連合協議会若者世代との意見交換会 政策提案一覧

テーマ:人が巡る、人が集う、人が育つ関西の創造について

大学名	テーマ		提案概要
	分野	タイトル	
滋賀大学	農林水産	若者が巡り育つ関西～地域の特徴を活かした農林漁業体験・自然体験～	関西広域連合で、各地域の類似した体験をまとめた「体験マップ」を作成する等、体験から体験への連動性を関西全体に持たせることで、若者が農山漁村の魅力を現場で体験理解することにより関心を持っていただくことを目指す。
同志社大学	観光振興	情報センター(仮称)の設立による関西の活性化	関西広域連合域内のSWOT分析結果を踏まえ、観光、若者、地域をつなぐ情報発信の拠点として、情報センター(仮称)を設立し、地域の情報を集約し企業や大学に発信する。
関西学院大学	観光振興	サイクリングイベントを通じた関西の魅力発信について	関西広域連合で関西全域を対象としたサイクリングルートを企画する。ルート上の観光名所や特産物をアピールする。また、参加者自身がSNSで関西広域連合域内の魅力を発信する。
和歌山大学	観光振興	～外国人観光客をターゲットに～刊行情報サイトの立ち上げ	関西について知ってもらう機会を増やすため、多言語に対応した関西の観光情報サイトを立ち上げる。観光情報サイトにはガイドブックには載っていない関西の魅力を自然、歴史、商業施設、食べ物、伝統行事の5方面からアプローチした周遊プランを掲載する。
公立鳥取環境大学	観光振興	観光タクシーとSNS情報発信による周遊型観光の推進	鳥取県が実施している観光タクシーを、関西広域連合域内の地方都市でも活用することにより二次交通を整備・充実し関西としてブランド化を図る。スマートフォン、SNSを有効活用し、スマートフォンの多言語翻訳機能の使用のみではなく、SNSにおける現地でのタイムリーな情報発信ツールとして利用する。
徳島大学	環境保全	地球温暖化防止に関する諸施策の取組について	大学内や県内で地球温暖化防止に関する活動を行う「学生地球温暖化防止活動推進員」により出前授業や地域との交流事業を実施。取組みにあたっては、地球温暖化防止活動推進センターと学生推進員の連携強化・ネットワークを広げることが重要である。地産地消の普及を促進することにより、地場製品の消費拡大に加え、フード・マイレージの減少にも寄与する。農業体験や文化祭等で情報発信することにより地産地消を広げることが環境保全にもつながる。